

# 第35回 神奈川県高等学校アンデパンダン大会

# 第15回 神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門

日 時 2000年11月12日(日)

会 場 神奈川県立平塚江南高等学校

## 【放送アンデパンダン大会】

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

主管：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会

## 【総合文化祭 放送部門】

主催：神奈川県高等学校文化連盟

神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

神奈川県教育委員会

主管：神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部会

(神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会)

後援

**TVKTEVE**



Fm yokohama 84.7

朝日新聞社横浜支局・神奈川新聞社

## 目 次

1	日 程	1
2	会場案内	2
3	役員校・委員校業務分担	4
4	放送アンデパンダン大会実施要領	5
5	放送アンデパンダン大会役員一覧	9
6	放送アンデパンダン大会審査の観点	10
7	放送アンデパンダン大会審査員一覧	13
8	放送アンデパンダン大会エントリー一覧	14
9	県総文祭放送部門実施要領	17
10	県総文祭放送部門役員一覧	21
11	県総文祭放送部門審査の観点	21
12	県総文祭放送部門審査員一覧	24
13	県総文祭放送部門エントリー一覧	24
14	神奈川県高等学校総合文化祭の紹介	26
15	出場校別参加本数一覧	27
16	諸注意	

研究発表は本会館で行うのでいい、

JASRACの手続

## 日 程

9 : 0 0 ~ 9 : 4 0	総合受付	: 生徒昇降口
9 : 2 0 ~ 9 : 4 0	作品提出	: 各会場で受付します
1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0	審 査	
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼 食	
1 3 : 0 0 ~	審 査	: 開始時間は開場で確認する
1 6 : 0 0 ~	閉 会 式	: 体育館

## 閉 会 式

◇閉会式 16 : 00 (予定)

司会 芝 哲也 君  
(県立市ヶ尾高等学校)

1. 開会のことば

アンデパンダン大会実行副委員長

県立金井高等学校

小島 将太 君

2. 放送アンデパンダン大会実行委員長あいさつ

県立平塚江南高等学校

米村 雄介 君

3. 神奈川県高等学校視聴覚教育研究会会長あいさつ

川崎市立商業高等学校長

渡辺 浩司 先生

4. 神奈川県総合文化祭放送部門講評

ビデオメッセージ部門 TVKテレビ(特別審査員)

放送制作局 情報部次長

清野 文雄 殿

オーディオピクチャー部門 FMヨコハマ(特別審査員)

編成部専任部長

水野 隆司 殿

5. 審査結果発表・表彰

放送アンデパンダン大会実行委員長

県立平塚江南高等学校

米村 雄介 君

総合文化祭放送部門運営委員長

県立平塚江南高等学校

中津川雅則 先生

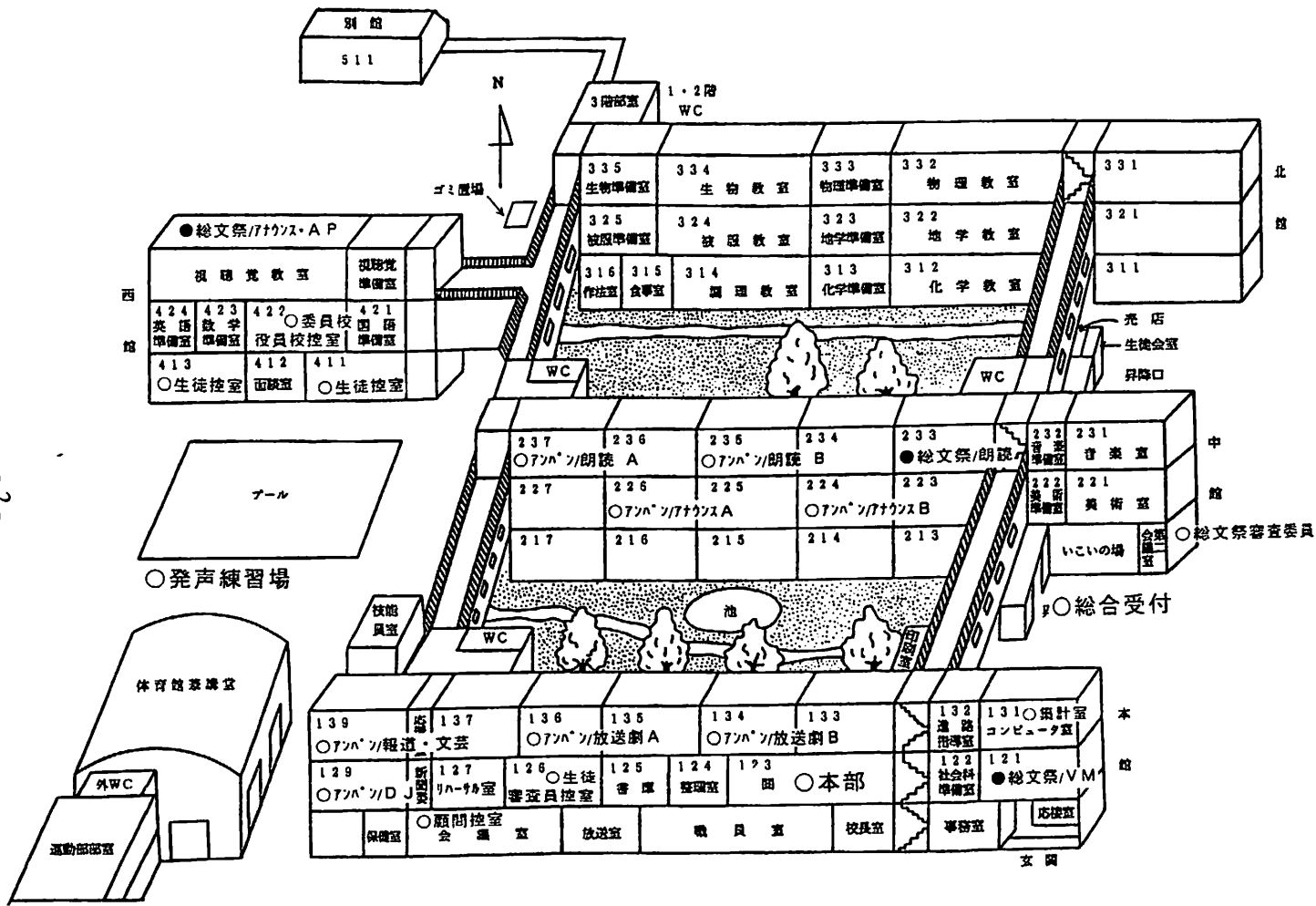
6. 閉会のことば

アンデパンダン大会実行副委員長

県立綾瀬西高等学校

荒川 真一 君

会場案内  
県立平塚江南高等学校



玄関

### 【特別審査委員／顧問】

- 本部…… 本館 2 F 閲覧室
- 顧問控室…… 本館 1 F 会議室
- 総文祭審査委員… 中館 1 F 第二会議室

### 【生徒／一般】

- 総合受付… 中館 1 F いこいの場
- 委員校／役員校控室… 西館 2 F 4 2 2 教室
- 生徒審査員控室… 本館 2 F 1 2 6 教室
- 集計室…… 本館 3 F コンピュータ室
- 発声練習場…… 体育館と西館の間（プール周辺）
- 生徒控室…… 西館 1 F 4 1 3 ・ 4 1 1 教室

### 【審査室】

- アソパ°ソ/アナウンスA…… 中館 2 F 2 2 6 教室
- アソパ°ソ/アナウンスB…… 中館 2 F 2 2 4 教室
- アソパ°ソ/朗読 A…… 中館 3 F 2 3 7 教室
- アソパ°ソ/朗読 B…… 中館 3 F 2 3 5 教室
- アソパ°ソ/報道・文芸… 本館 3 F 1 3 9 教室
- アソパ°ソ/D J…… 本館 2 F 1 2 9 教室
- アソパ°ソ/D Jリハーサル室… 本館 2 F 1 2 7 教室
- アソパ°ソ/放送劇 A… 本館 3 F 1 3 6 教室
- アソパ°ソ/放送劇 B… 本館 3 F 1 3 4 教室
  
- 総文祭/アナウンス・A P… 西館 3 F 視聴覚教室
- 総文祭/朗読…… 中館 3 F 2 3 3 教室
- 総文祭/V M…… 本館 2 F 社会科教室

第35回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会  
第15回 神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門  
役員校・委員校 業務分担

<役員校>

- ・ 県立綾瀬西    ・ 県立平塚江南    ・ 法政大学第二    ・ 県立市ヶ尾
- ・ 県立追浜    ・ 県立金井    ・ 県立神奈川工業    ・ 日大藤沢

<委員校>

○横浜

- ・ 県立神奈川総合    ・ 県立岸根    ・ 市立南    ・ 日大高校・

○川崎・横須賀・三浦

- ・ 県立大師    ・ 県立新城    ・ 県立横須賀

○北相・西相

- ・ 向上    ・ 相模女子    ・ 県立相模大野    ・ 県立相模田名

○湘南

- ・ 大船工業技術

<業務分担>

○受付：県立市が尾・法政大第二

○集計：県立神奈川工業・県立平塚江南・県立金井

○閉会式：県立追浜

<審査補助>

【アンデパンダン大会】

○アナウンスA：市立南

○アナウンスB：向上

○朗読A：県立大師

○朗読B：県立横須賀

○DJ：県立神奈川総合

○報道・文芸：日本大学

○放送劇A：県立相模田名

○放送劇B：県立大船工業技術

【総合文化祭放送部門】

○アナウンス・AP：県立相模大野 ○朗読：県立新城

○ビデオメッセージ：相模女子大

**第35回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会  
実施要領**

1. **目的**：生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、正しいマスコミュニケーションの理解をはかる。また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。あわせて校内放送活動の活性化をはかる。

2. **主催・主管**

【アンデパンダン大会】

主催：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会

主管：神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会

3. **日時**

2000年11月12日(日)

9:00～17:00

4. **会場**：県立平塚江南高等学校

5. **参加資格**

2000年10月現在、神奈川県高等学校視聴覚教育研究会加盟校に在学し、校内放送に携わっている放送部・委員会の生徒であること。ただし、参加できるのは1、2年生とし、審査員説明会と大会当日、審査員を出さない学校は参加資格がないものとする。審査員は1名以上とし、3年生でもよい。 ※生DJ部門のみ3年生の参加も可とする。ただし制作代表者にはなれない。(2000年度より)

6. **部門・参加本数・参加費用**

【アンデパンダン大会】

	アナ	朗読	報道	DJ	文芸	放送劇
参加本数	5人	5人	2本	1本	1本	1本
参加費用	1作品／1本毎 600円					

7. **表彰**

アナウンス・朗読：各会場1～6位

番組制作：各会場1～4位

## 8. 審査

- ①参加校各1名以上の生徒が審査にあたる。
- ②審査員は次の注意を守ること。
  - ☆部長（委員長）もしくはそれに準じる者であること。
  - ☆大会当日中の交代は不可。
  - ☆9月30日（土）の審査員説明会に出席したもの。
  - ☆3年生も可
- ③委員校・役員校は審査員を出さなくてよい。

## 9. 審査基準、方法

- ①高校生として望ましいアナウンスメント、朗読、番組であること。
- ②別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
- ③規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
- ④詳細については、審査員および大会実行委員長の協議による。最終判断は、大会実行委員長の責任において行なう。

## 10. 参加申込および審査員説明会

期日：2000年9月30日（土）

会場：県立平塚江南高等学校

## 12. アンデパンダン大会諸規定

### A アナウンス部門諸規定

- ①内容：自校のニュースや解説など、高校生活を語る若者の声を内容とし、原稿は自作したものに限る。原稿と実際のアナウンスに相違があってはならない。
- ②時間：1分10秒～1分30秒。番号、学校名、氏名を含む。
- ③計時：最初の声から最後の声までとする。但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

### B 朗読部門諸規定

- ①内容：次の5作品から1編を選び、自己の表現したい部分をきめて朗読する。作品の脚色は認めない。また、原稿と実際の朗読に相違があってはならない。
    - 1「戯作三昧」 芥川龍之介（新潮文庫）
    - 2「夏の庭」 湯本 香樹実（新潮文庫）
    - 3「史記の風景」宮城谷昌光（新潮文庫）
    - 4「海からの贈物」リトバーグ夫人（新潮文庫）
    - 5「枕草子」
- \*（ ）内の出版社に限る。
- ②時間：1分30秒～2分00秒。



番号、学校名、氏名、作者名、作品名を含む。

- ③計時：最初の声から最後の声までとする。但し、キューサイン直後から読み始めるようにすること。

## C 番組制作部門諸規定

### ①種類と時間：

録音DJ・文芸： 9分20秒～10分00秒

（注意）使用するデッキの回転誤差がありうるため、9分40秒程度で制作することが望ましい。

報道： 6分30秒～7分00秒

放送劇： 15分00秒以内

### ②内容：

生徒自らの創作に限る。

文芸に含まれる作品は次のような作品とする。

ア)劇形式を主としないもの。 イ)ナレーションが中心となるもの。

ウ)創作で朗読形式をとるもの。

### ③制作者：

3年生の協力も事情によっては認めるが、その場合はスクリプトの末尾に学年・氏名・係（役）を明記すること。

### ④使用テープ：

ア)往復録音時間30～60分のカセットテープを使用。

イ)A面のみに録音。B面は消去しておく。

※テープの種類は問わない。

### ⑤録音・再生：

ア)左右両チャンネルに同じ音を録音する。

イ)審査は、モノラル、ノーマルポジション、ノンノイズリダクションで再生して行なう。

ウ)録音はリーダーテープの直後から始め、最後に「制作は〇〇高等学校放送部（委員会）でした」というクレジットコールを入れる。

### ⑥計時：

ア)審査補助係が、テープがリーダーテープ直後になっていることを確認し、デッキに入れて、ポーズ状態にする。

イ)計時はポーズ解除の瞬間からクレジットコールの最後までとする。

ウ)クレジットコール終了とともに再生を終える。その後どんな音が入っていても審査の対象とはならない。

⑦ラベル：

ア)テープケースに「作品票」(説明会時配布)を貼ること。

イ)テープ本体のA面に、部門名・会場名・学校名(略称可)を明記した紙を貼ること。

⑧著作権処理について  
事前配付資料の

18 著作権処理についてをよく読んで、適切に処理すること。

## D 生DJ番組部門諸規定

①種類と時間

生DJ：10分00秒以内(セッティング時間を含む)

②内容：生徒自らの創作に限る。

最低3曲以上の楽曲を使用すること。

③制作者・出場者：

4名までの出場を認める。3年生の参加も可とする。

ただし、当日アナウンス・朗読部門に出場する生徒は出場できない。

④計時：生DJ 審査補助係のコールに続く審査員のキューにより計時をスタートさせ、出場校はセッティングを開始し、そのまま番組を始める。最後のクレジットコール(例：「担当は・・・高校放送部でした」)終了時に計時をストップする。

⑤規格：

i 音源：CDのみ モノラル再生

(複製音源(CD-Rなど)使用不可)

ii 使用機材：CDデッキ3台・マイク2本・ミキサー1台

iii Qシート：番組の進行の大まかな流れを説明するQシートを作成し、2部提出する。用紙はA4、記入の内容は自由。

⑥リハーサル：

別室において同じ機材を用いて10分以内で行うことができる。

第35回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会  
役員一覧

1. 実行委員

実行委員長	米村 和彦	(県立平塚江南高等学校)
実行副委員長	西堀 雄介	(県立神奈川工業高等学校)
実行副委員長	石井 舞衣	(県立追浜高等学校)
実行副委員長	西原 典子	(県立市ヶ尾高等学校)
実行副委員長	矢島 健太郎	(法政大学第二高等学校)
実行副委員長	小島 将太	(県立金井高等学校)
実行副委員長	荒川 真一	(県立綾瀬西高等学校)
実行副委員長	三浦 紗穂	(日本大学藤沢高等学校)
前実行委員長	青木 堯	(法政大学第二高等学校)

2. 補助教員

本田 博都	(県立綾瀬西高等学校)
中津川 雅則	(県立平塚江南高等学校)
北詰 昌敬	(法政大学第二高等学校)
柴田 真理子	(県立市ヶ尾高等学校)
島山 純一	(県立追浜高等学校)
根岸 富男	(県立金井高等学校)
後藤 宗治	(県立神奈川工業高等学校)
海沼 茂男	(日本大学藤沢高等学校)

第 3 5 回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会  
審 査 の 観 点

《アナウンス》

①配点と観点

- 1 点数は100点法とする。
- 2 原稿に関する項目を30点、アナウンスの技術に関する項目を70点とする。
- 3 原稿
  - ・素材の選び方 ・文章表現の確かさ ・内容の深さ
- 4 アナウンスの技術
  - ・マイクの使い方 ・発声及び発音 ・アクセント ・プロミネンス
  - ・イントネーション・テンポ ・ポーズ

② 審査上の留意点

- 1 基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。(特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)
- 2 元気があって明るいのはよいが、いわゆるコンテスト調(歌い上げる調子のもの)に高い評価をしない。
- 3 自然で張りのある若々しいアナウンスを高く評価する。

《朗読》

①配点と観点

- 1 点数は100点法とする。
- 2 原稿に関する項目を30点、朗読の技術に関する項目を70点とする。
- 3 原稿
  - ・作品の選び方・朗読部分の抜き出し方
- 4 朗読の技術
  - ・マイクの使い方・発声及び発音・アクセント・プロミネンス
  - ・イントネーション・テンポ・ポーズ・内容の把握・表現の仕方

②審査上の留意点

- 1 基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。(特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)
- 2 作り声、過度の感情移入、あるいは自分一人で酔っているような朗読については厳しく評価する。
- 3 自然で、深みがある朗読を高く評価する。

## 《報道》

### ①配点と観点

- 1 点数は、100点法とする。
- 2 テーマ点を50点、制作技術点を50点とする。
- 3 テーマ点（50点）
  - a. テーマをよく捉え、見事に表現している（50点）
  - b. テーマにふさわしい（40点）
  - c. テーマにふさわしいが、いま一步（30点）
  - d. テーマがややずれている（20点）
  - e. テーマにふさわしくない（10点）
- 4 制作技術点（50点）
  - (1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画と構成
  - (4) 演出と編集 (5) 技術（録音の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など）
    - a. 特に優れている（50点）
    - b. 優れている（40点）
    - c. 普通である（30点）
    - d. やや劣る（20点）
    - e. はなはだしく劣る（10点）

### ②審査上の留意点

- 1 制作時間及び制作方法に関する参加規定に抵触していないかどうか。
- 2 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直したものでないかどうか。
- 3 放送局の番組を主体としたものでないかどうか。

## 《文芸・放送劇》

### ①配点と観点

- 1 点数は、100点法とする。
- 2 テーマ点を50点、制作技術点を50点とする。
- 3 脚本点（50点）

テーマに対し、適切な素材を選び、効果的に表現しているか。

  - a. すばらしいできればである（50点）
  - b. 良く出来た内容である（40点）
  - c. 内容はよいが、いま一步（30点）
  - d. 平凡でおもしろくない（20点）
  - e. もう少し勉強してみても（10点）
- 4 制作技術点（50点）
  - (1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画と構成 (4) 演出と編集 (5) 技術（録音の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など）
    - a. 特に優れている（50点）
    - b. 優れている（40点）
    - c. 普通である（30点）
    - d. やや劣る（20点）
    - e. はなはだしく劣る（10点）

### ②審査上の留意点

- 1 制作時間及び制作方法に関する参加規定に抵触していないかどうか。
- 2 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直したものでないかどうか。
- 3 放送局の番組を主体としたものでないかどうか。

◀ D J ▶

①配点と観点

- 1 点数は、100点法とする。
- 2 脚本点を50点、制作技術点を50点とする。
- 3 脚本点(50点)

表現したいテーマに対し適切な素材を選び、効果的に表現しているか。

- a. すばらしいできばえである(50点)
- b. 良く出来た内容である(40点)
- c. 内容はよいが、いま一步(30点)
- d. 平凡でおもしろくない(20点)
- e. もう少し勉強してみても(10点)

4制作技術点(50点)

(1)制作の手法 (2)取材の方法や努力 (3)企画と構成 (4)演出と編集  
(5)技術(録音の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など)

- |             |       |          |       |
|-------------|-------|----------|-------|
| a. 特に優れている  | (50点) | b. 優れている | (40点) |
| c. 普通である    | (30点) | d. やや劣る  | (20点) |
| e. はなはだしく劣る | (10点) |          |       |

②審査上の留意点

- 1 制作時間及び制作方法に関する参加規定に抵触していないかどうか。
- 2 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直ししたものでないかどうか。
- 3 放送局の番組を主体としたものでないかどうか。

第 3 5 回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会  
審 査 員 一 覧

《アナウンス A》

矢島 悠子 (県立多摩)  
金子 浩実 (富士見丘)  
大関 智子 (捜真女学校)  
神村 絵織 (県立横浜翠嵐)  
茅野 麻衣子 (県立新栄)

《アナウンス B》

橋本 直美 (県立横浜日野)  
小菅 綾 (県立有馬)  
國井 美沙保 (法政大女子)  
桧山 命 (向上)  
亀ヶ谷慶子 (県立東金沢)

《朗読 A》

滝川 司 (市立戸塚)  
大山 創 (県立元石川)  
海老原将人 (県立足柄)  
山口 修 (県立横須賀)  
小島 そよか (県立瀬谷西)

《朗読 B》

小田 健太郎 (県立茅ヶ崎)  
渡辺 健太郎 (相洋)  
金子 美紗 (県立鶴見)  
渡辺 かほり (法政大女子)  
岩澤 亜沙美 (市立商業)

《報道・文芸》

田尻 祐美 (県立希望ヶ丘)  
大木 裕介 (東海大学附属相模)  
石井 健人 (県立磯子)  
地村 怜 (県立六ツ川)  
田澤 麻美 (県立平塚江南)

《 D J 》

保坂 篤 (県立大和西)  
間永 洋一郎 (逗子開成)  
鈴木 久美 (県立座間)  
佐藤 瑠美 (横浜創英)  
清田 哲朗 (麻布大淵野辺)

《放送劇 A》

島崎 光雄 (県立大和西)  
井草 茉織 (県立海老名)  
野崎 奈緒美 (市立金沢)  
松尾 安紀土 (県立永谷)  
木村 真人 (県立市ヶ尾)

《放送劇 B》

仁加保徹 (法政大第二)  
内田 陽 (県立大船工業技術)  
中山 健太 (県立七里が浜)  
石岡 利紗 (県立大和東)  
飯倉 達也 (横須賀学院)

おれん 大塚  
いさよ 三浦

**第35回 神奈川県高等学校放送アンデパンダン大会  
エントリー一覧**

【アナウンス部門】

A会場

B会場

No	学校名	氏名	幹
1	横浜創英短大女子	津村 悠	1
2	市立戸塚	青沼 裕美子	1
3	東海大付属相模	伊藤 真奈美	1
4	県立六ツ川	三井 未佳	1
5	県立平塚江南	中野 沙帆子	2
6	法政大学第二	増島 一成	1
7	県立鶴見	村手 香織	1
8	県立東金沢	工藤 貴博	1
9	県立神奈川工業	竹本 愛理	1
10	市立戸塚	内藤 壘	2
11	市立商業	大湯 善久	2
12	法政大学第二	浦野 哲彰	2
13	県立多摩	東 香緒里	2
14	県立大和東	高橋 友美	1
15	東海大付属相模	中野 有美子	1
16	県立六ツ川	後藤 潤平	2
17	法政大学女子	高瀬 真里	1
18	富士見ヶ丘	佐藤 麻里	2
19	日本大学藤沢	山田 実樹	2
20	県立大師	新名 啓子	1
21	県立多摩	高橋 治子	2
22	県立有馬	齋藤 香奈子	2
23	県立相模田名	荒木 早未	2
24	県立六ツ川	片倉 ちあき	1
25	市立金沢	斗沢 清芽	2
26	県立市ヶ尾	後藤 裕美子	1
27	県立七里が浜	池田 慶子	1
28	富士見ヶ丘	後藤 央子	1
29	法政大学第二	林 聡	1
30	県立座間	鈴木 砂登美	1
31	県立大和西	中尾 美佳	1
32	県立市ヶ尾	西原 典子	2
33	法政大学女子	正垣 知美	1
34	県立横浜日野	深澤 慎也	1
35	県立金井	岡田 星菜	1
36	捜真女学校	松谷 みどり	1

No	学校名	氏名	幹
1	県立大和東	藍田 啓輔	1
2	県立永谷	鳥巢 佑香	1
3	富士見ヶ丘	種市 里美	2
4	日本大学	遠藤 美沙子	2
5	県立六ツ川	石田 葉奈	1
6	県立多摩	菊井 友美	1
7	日本大学藤沢	中野 英之	1
8	法政大学第二	豊田 幸美	2
9	県立新城	服部 乃梨子	1
10	県立鶴見	金子 美紗	1
11	市立戸塚	原 啓子	1
12	法政大学女子	藤田 悠海子	2
13	県立金井	飯田 早苗	1
14	富士見ヶ丘	江尻 綾子	1
15	東海大学付属相模	石橋 知佳	1
16	相模女子大	海老澤 茉夕	1
17	県立日野	永田 陽祐	1
18	県立希望ヶ丘	士林 美由希	1
19	県立市ヶ尾	宇野 智恵	2
20	県立鶴見	大石 奈穂子	1
21	県立追浜	鈴木 美陽子	1
22	法政大学第二	幡野 裕樹	2
23	大和西	大島 千佳	2
24	県立有馬	塚本 耕平	2
25	県立座間	橋本 有紀	1
26	市立戸塚	宮迫 嵩	2
27	横浜創英短大女子	鶴田 千賀	1
28	市立金沢	深田 智得	1
29	県立六ツ川	佐藤 祐子	1
30	県立大師	伊藤 健太郎	1
31	県立平塚江南	萬 智恵子	1
32	県立翠嵐	白木 優香	1
33	県立東金沢	高橋 俊也	2
34	市立戸塚	新井 翔二	2
35	市立商業	岩澤 亜沙美	1
36	逗子開成	真山 裕介	2
37	県立座間	梅村 美樹	1



6) 柳地田名に  
5) 柳地田名

4) 柳地田名  
【朗読】  
5) 柳地田名  
6) 柳地田名  
2) 柳地田名  
2) 柳地田名

A 会場

B 会場

NO	学校名	氏名	学年
1	県立有馬	小橋 加奈	2
2	県立大和東	上村 朋代	1
3	県立磯子	近藤 初美	1
4	県立大師	富樫 美香	1
5	県立平塚江南	小原 木沙織	1
6	県立横浜翠嵐	杉山 恵一郎	1
7	県立六ツ川	松川 裕子	1
8	県立海老名	釘 貫 聖子	1
9	県立相模大野	山下 淳也	2
10	県立神奈川総合	鈴木 彩子	1
11	県立瀬谷西	佐藤 美久	1
12	県立大師	斉藤 幸也	2
13	県立大和西	北岡 真由子	1
14	市立戸塚	村松 真理	1
15	市立東金沢	村又 眞行	2
16	県立多摩	森納 正保子	1
17	日本大学	桑原 綾子	1
18	法政大第二	田中 彬浩	1
19	県立平塚江南	原 佑介	2
20	県立大和東	遙山 梨恵	1
21	県立相模田名	武笠 くみ	2
22	県立元石川	柄沢 惟代	1
23	県立市ヶ尾	八谷 由香	2
24	県立神奈川工業	須藤 江里子	1
25	県立有馬	千葉 仁美	2
26	横浜創英	白井 渚	1
27	県立大和東	藤堂 孝	1
28	県立鶴見	高村 真代	1
29	相模女子大	宮沢 浩美	1
30	法政大第二	矢島 健太郎	2
31	県立大和西	山口 朋美	1
32	東海大相模	飛沢 綾子	2
33	県立多摩	石井 花奈	1
34	日大藤沢	伊藤 笑子	2
35	返子開成	小笠原 哲史	2
36	県立追浜	酒井 絢子	1
37	法政大女子	山口 麻衣子	1
38	東海大相模	野寺 由紀	1
39	市立金沢	高橋 英樹	2
40	相洋	浅井 利幸	2
41	県立鶴見	東川 智美	1
42	向上	金井 悠	1
43	法政大第二	堂田 啓祐	1
44	県立横浜日野	荒木 光	1
45	日大藤沢	吉本 圭佑	2
46	県立希望ヶ丘	米山 智子	1
47	市立戸塚	平松 麻祐子	1
48	市立南	木村 聡子	1
49	県立七里ヶ浜	田村 羽衣子	2
50	県立六ツ川	稲葉 由香	1
51	県立相模田名	谷口 友美	2
52	県立足柄	安田 光子	1
53	東海大相模	白木 郁	2
54	県立海老名	吉岡 聖恵	2
55	県立座間	大 貴 祝和	1

NO.	学校名	氏名	学年
1	県立希望ヶ丘	村田 京子	2
2	県立六ツ川	日置 秀馬	1
3	市立南	大内 愛	1
4	県立多摩	坂本 達哉	1
5	法政大学第二	三浦 隆志	2
6	県立平塚江南	須藤 圭太	2
7	県立海老名	加藤 まどか	1
8	相模女子大	板倉 里衣	1
9	県立神奈川工業	桑 恵子	1
10	県立六ツ川	山下 翠	2
11	県立座間	漆畑 亮	1
12	県立神奈川総合	西堀 朝子	2
13	県立新城	坂本 之和	1
14	市立戸塚	服部 靖子	1
15	県立座間	齋藤 愛	2
16	日本大学	藤田 考輔	2
17	県立平塚江南	桑 典史	2
18	市立商業	高橋 博文	2
19	相洋	犬飼 紀弘	2
20	県立磯子	岩壁 有希	2
21	県立市ヶ尾	芝 哲也	2
22	県立鶴見	持丸 愛	1
23	県立大師	原田 文	2
24	日本大学	二井谷 真輝	1
25	県立多摩	田部 井宏朋	2
26	日大藤沢	和田 寛也	1
27	県立有馬	平本 香苗	1
28	東海大相模	小山 善之	2
29	法政大学第二	加藤 拓	1
30	県立七里ヶ浜	大河内 日香	2
31	県立大師	伊藤 愛子	2
32	県立海老名	森田 亜紀	2
33	県立七里ヶ浜	新田 紘子	2
34	県立大和東	阿部 千裕	1
35	市立南	藤崎 亜美	1
36	県立相模田名	庄司 佳代	2
37	向上	薄井 敬介	2
38	東海大相模	近藤 明菜	1
39	相洋	安達 智統	1
40	県立大和西	高島 希代	2
41	県立有馬	志田 祐一	1
42	麻布大淵野辺	木村 亮介	1
43	県立有馬	小日向 裕介	1
44	県立相模大野	境 奈津	2
45	相模女子大	井上 綾	1
46	県立追浜	佐久間 珠理	1
47	県立横須賀	笹沼 俊宏	1
48	市立金沢	松永 恵美子	2
49	県立茅ヶ崎	磯崎 真理	2
50	富士見丘	杉浦 裕可	2
51	県立東金沢	相馬 英里	1
52	県立鶴見	烏田 雄輔	1
53	県立大和東	福田 健	1
54	横浜創英	伊藤 麻美子	1
55	県立元石川	城所 友美	1

4 六ツ川  
3 大野 加下

4 大野 加下  
3 有馬 加下

2. 3 有馬 加下

3 有馬 加下

1. 神奈川総合【放送劇部門】

2. 2つか 45和

A会場

B会場

No	学校名	氏名	学年
1	市立金沢	野崎 奈緒美	2
2	県立六ツ川	小島 明日香	1
3	私立日大藤沢	山田 実樹	2
4	県立追浜	石井 舞妃	1
5	県立多摩	長部 修樹	2
6	県立横須賀	山口 修	1
7	県立相模大野	山下 淳也	2
8	県立海老名	小池 智子	2
9	私立横須賀学院	菊田 壮志	2
10	県立鶴見	村手 香織	1
11	県立大船工技	内田 陽	2
12	県立神奈川総合	朝倉 智子	2
13	私立東海大相模	大木 祐介	2
14	県立大和東	遇山 梨恵	1

No	学校名	氏名	学年
1	県立平塚江南	萬 智恵子	1
2	私立法政第二	増島 一成	1
3	県立大和西	片山 恵	2
4	県立足柄	片岡 友美	1
5	私立日本大学	我妻 聡	
6	県立茅ヶ崎	磯崎 真理	2
7	市立戸塚	平松 麻祐子	1
8	県立相模田名	谷口 友美	2
9	県立金井	小島 将太	2
10	市立川崎商業	大湯 善久	2
11	県立元石川	横田 淳	2
12	私立淵野辺	宮川 るりこ	1
13	県立神奈川工業	吉川 克紀	2

7

【DJ部門】

【文芸部門】

No	学校	氏名	年	行	17
1	県立希望ヶ丘	植村悠人	2	録音	
2	横浜創英	玉那覇 蕉	1	録音	
3	横須賀学院	石田直人	2	録音	
4	逗子開成	間永洋一郎	2	録音	
5	県立多摩	高橋治子	2	録音	
6	法政第二	夏目義大	2	録音	
7	県立綾瀬西	荒川真一	2	録音	
8	県立六ツ川	宮城 滯	2	生	
9	県立金井	菅原 仁	1	生	
10	県立磯子	山下美智子	3	生	
11	県立追浜	安田理絵	1	生	
12	日大藤沢	三浦紗穂	2	生	
13	県立大船工業技術	瀬戸健太郎	1	生	
14	県立大和西	清武麻衣子	2	生	
15	県立海老名	安西 望	1	生	
16	淵野辺	大野俊輔	2	生	
17	県立相模大野	竹内 慎	2	生	

No	学校	氏名	学年
1	県立六ツ川	松川裕子	1
2	県立瀬谷西	不明	
3	法政第二	三浦隆志	2
4	県立多摩	石井花奈	1
5	県立追浜	佐久間珠理	1
6	県立足柄	豊田正義	1
7	東海大学付属相模	中野有美子	1

4

3  
1  
1

【報道部門】

No	学校	氏名	学年
1	日本大学	森田 亮	2
2	県立六ツ川	金井美樹	1
3	横浜創英	金澤弘子	1
4	横浜創英	永井理美	1
5	県立神奈川工業	山瀬雄介	2
6	県立希望ヶ丘	笈川知子	2
7	法政大学女子	藤田悠海子	2
8	法政大学第二	宮嶋大樹	2
9	県立多摩	東香緒里	2
10	県立平塚江南	澤井一貴	1
11	県立有馬	小宮 綾	1
12	県立大和東	石岡利紗	1
13	東海大学付属相模	八重嶋香里	2
14	法政第二	榎野裕樹	2
15	県立多摩	木平奈緒	1
16	県立追浜	根岸美佳	1

4. 金井 美樹

17

2. 文六川 2つか

1 3 有馬 加下

1 法政第二

4 有馬 加下

3 有馬 加下

2. 志保 有馬

11 法政第二

第15回 神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門  
実施要領

1. 目的：生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、正しいマスコミュニケーションの理解をはかる。また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。あわせて校内放送活動の活性化をはかる。

2. 主催・主管

主催：神奈川県高等学校文化連盟  
神奈川県高等学校視聴覚教育研究会  
神奈川県教育委員会

主管：神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部会  
(神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会)

後援：TVK・FM横浜・朝日新聞社横浜支局・神奈川新聞社

3. 日時

2000年11月12日(日) 9:00～17:00

4. 会場：県立平塚江南高校

5. 参加資格

【神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門】

1, 2年生とする。ただし、高文連未加盟校は参加1作品につき600円の参加費用を納めるものとする。また、高文連未加盟校は全国大会に推薦されない。

6. 部門・参加本数・参加費用

	アナ	朗読	オーディオレクチャー	ビデオメッセージ
参加本数	1本	1本	2本	2本
参加費用	無料(高文連未加盟校は600円/1作品)			

## 7. 表彰

- アナウンス・朗読：各 1～6 位  
1 位に教育長賞、2～3 位に高文連会長賞、  
4～6 位に高視研会長賞
- オーディオ・ビデオ・クチャー：上位 6 作品  
1 位に教育長賞、2～6 位に高視研会長賞
- ビデオメッセージ：上位 6 作品  
1 位に教育長賞、2 位に高文連会長賞、  
3～6 位に高視研会長賞

### 注 1)

2001 年度全国高等学校総合文化祭(福岡)には次の本数を推薦する。

- アナウンス・朗読 各 3 人  
オーディオ・ビデオ・クチャー 1 作品  
ビデオメッセージ 2 作品

### 注 2)

神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門最優秀作品(教育長賞)の表彰は、平成 12 年度かながわ高校芸術祭閉会式(2001 年 1 月 20 日)に芸術祭他部門とともに行なわれる。

### 注 3)

審査対象作品が少なかった場合は、表彰本数を減らすことがある。

## 8. 審査・審査基準

- ①各部門、教員審査員と TVK、FMヨコハマからの特別審査員による。
- ②別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
- ③規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
- ④詳細は、審査員およびコンテスト運営委員長の協議による。

## 9. 参加申込

2000 年 9 月 30 日(土) 実施済み

## 10. 神奈川県高等学校総合文化祭放送部門諸規定

※次年度の全国総合文化祭放送部門参加要領に準ずる。

### A アナウンス部門

- ①内容：地域における国際交流（異文化理解）の話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿とし、スライド（5枚以内）を併用することができる。<sup>(10)</sup>  
BGMは使用できない。
- ②時間：1分30秒以内。学校名、氏名を含む。<sup>→ +2はミヨシバハイ 校内の  
1分30秒以内</sup>
- ③審査方法：テープ審査とする。
- ④使用テープ：アンデパンダン大会・番組制作部門諸規定に準ずる。
- ⑤録音・再生：アンデパンダン大会・番組制作部門諸規定に準ずる。
- ⑥計時：アンデパンダン大会・番組制作部門諸規定に準ずる。
- ⑦ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門諸規定に準ずる。
- ⑧スライドを使用する場合には各校の生徒がスライド映写機を操作すること。
- ⑨規格：スライド  
ア)35mm標準マウントを使用する。  
イ)映写機は1台。

### B 朗読部門

- ①内容：異文化との出会いを取り上げた場面の一部を選んで原稿とし、効果音やBGMを併用することができる。スライドは使用できない。作品のジャンルや作者の出身地などは問わない。
- ②時間：2分以内。校名、氏名を含む。
- ③審査方法：テープ審査とする。
- ④使用テープ：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑤録音・再生：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑥計時：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑦ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。

### C オーディオピクチャー（AP）部門

- ①内容：カセットテープによるステレオ音声とスライド（枚数は自由）を併用する未発表の作品とする。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問わない（MDも可）。
- ②時間：5分以内。
- ③使用テープ：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ④録音・再生：ステレオ再生。（MD使用校は持ち込み再生とする）
- ⑤計時：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。

- ⑥ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑦音声の再生は各校で行うこと。スライドを使用する場合にも各校の生徒がスライド映写機を操作すること。
- ⑧規格：スライド
  - ア)3 5 mm標準マウントを使用する。
  - イ)映写機は2台。

#### D ビデオメッセージ（VM）部門

- ①内容：郷土の文化を全国の仲間に紹介する内容で、ビデオカメラで撮影した未発表の作品とする。手法は問わない。
- ②時間：5分以内。前後に20秒のテストパターンを入れる。形式はNHK杯全国高校放送コンテスト様式規定7に準じる。動きのあるテストパターン、フェーダーを使用したテストパターンは禁止。
- ③計時：番組本体についてのみ行なう。
- ④規格：ア)VTRはVHS・S-VHS・8mm・Hi-8（標準モード）とする。
  - イ)音声はHi-Fi又はノーマル（8mmの場合はPCMまたはAFM）とする。
  - ウ)ドルビー等ノイズリダクションを使用しないこと。
- ⑤ラベル：アンデパンダン大会番組制作部門規定に準ずる。
- ⑥その他：DVの使用も可とするが、DV使用校は、持ち込み再生とする。上記以外の規定については、NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準じる。

#### 11. その他

上記以外の規定については、NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準じる。

第15回 神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門  
役員一覧

1. 主催

神奈川県高等学校文化連盟 会長 山田 進 (県立湘南高等学校)  
神奈川県高等学校視聴覚教育研究会  
(県高文連放送情報専門部会) 会長 渡辺 浩司 (川崎市立商業高等学校)

2. 運営

中津川雅則 (県立平塚江南高等学校) 本田 博都 (県立綾瀬西高等学校)  
北詰 昌敬 (法政大学第二高等学校) 柴田 真理子 (県立市ヶ尾高等学校)  
畠山 純一 (県立追浜高等学校) 根岸 富男 (県立金井高等学校)  
後藤 宗治 (県立神奈川工業高等学校) 海沼 茂男 (日本大学藤沢高等学校)

第15回神奈川県総合文化祭 放送部門  
審査の観点

《アナウンス部門》

①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. 原稿に関する項目を30点、アナウンスの技術に関する項目を70点とする。
3. 原稿
  - ・素材の選び方 ・文章表現の確かさ ・内容の深さ
4. アナウンスの技術
  - ・マイクの使い方 ・発声及び発音 ・アクセント ・プロミネンス
  - ・イントネーション・テンポ ・ポーズ

②審査上の留意点

1. 基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。(特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)
2. 元気があって明るいのはよいが、いわゆるコンテスト調(歌い上げる調子のもの)に高い評価をしない。
3. 自然で張りのある若々しいアナウンスを高く評価する。
4. スライドが効果的に使用されている場合には全体的な印象点として合計点に加味する。

《朗読部門》

①配点と観点

1. 点数は100点法とする。

2. 原稿に関する項目を30点、朗読の技術に関する項目を70点とする。

3. 原稿

・作品の選び方・朗読部分の抜き出し方

4. 朗読の技術

・マイクの使い方・発声及び発音　・アクセント　・プロミネンス　・イントネーション　・テンポ　・ポーズ　・内容の把握　・表現の仕方

②審査上の留意点

1. 基礎的・基本的事項の不備なものに高い評価をしない。(特に鼻濁音、無声化、語尾の延びについて)
2. 作り声、過度の感情移入、あるいは自分一人で酔っているような朗読については厳しく評価する。
3. 自然で、深みがある朗読を高く評価する。
4. 効果音・BGMが効果的に使用されている場合には全体的な印象点として合計点に加味する。



## 《オーディオ・ピクチャー部門》

### ①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. 脚本点を50点、制作技術点を50点とする。
3. 脚本点(50点)

テーマに対し、適切な素材を選び、効果的に表現しているか。

- a. 高校生として素晴らしいできればである (50点)
- b. 良く出来た内容である (40点)
- c. 内容はよいが、いま一步 (30点)
- d. 平凡でおもしろくない (20点)
- e. もう少し勉強してみても (10点)

### 4. 制作技術点(50点)

- (1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画と構成 (4) 演出と編集
  - (5) 技術(録音の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方、スライドと音響のリンクなど)
- a. 特に優れている (50点)
  - b. 優れている (40点)
  - c. 普通である (30点)
  - d. やや劣る (20点)
  - e. はなはだしく劣る (10点)

### ②審査上の留意点

1. 制作時間及び制作方法に関する参加規定に抵触していないかどうか。
2. 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直したものでないかどうか。
3. 放送局の番組を主体としたものでないかどうか。

## 《ビデオメッセージ部門》

### ①配点と観点

1. 点数は100点法とする。
2. 脚本点を50点、制作技術点を50点とする。
3. 脚本点(50点)

テーマに対し、適切な素材を選び、効果的に表現しているか。

- a. 高校生として素晴らしいできればである (50点)
- b. 良く出来た内容である (40点)
- c. 内容はよいが、いま一步 (30点)
- d. 平凡でおもしろくない (20点)
- e. もう少し勉強してみても (10点)

### 4. 制作技術点(50点)

- (1) 制作の手法 (2) 取材の方法や努力 (3) 企画と構成 (4) 演出と編集
  - (5) 技術(録音・録画の技術、アナウンスやナレーションの技術、音楽や効果音の使い方など)
- a. 特に優れている (50点)
  - b. 優れている (40点)
  - c. 普通である (30点)
  - d. やや劣る (20点)
  - e. はなはだしく劣る (10点)

### ②審査上の留意点

1. 制作時間及び制作方法に関する参加規定に抵触していないかどうか。
2. 他のコンクールに出品したもの、またはそれを手直したものでないかどうか。
3. 放送局の番組を主体としたものでないかどうか。

第 1 5 回 神奈川県総合文化祭 放送部門  
審 査 員 一 覧

◀アナウンス部門▶

- ◎横須賀 真 (県立柿生)
- 三宅 義人 (捜真女学校)
- 海部 弘 (県立多摩)
- 大久保あゆみ (県立磯子)
- 相澤 秀樹 (麻布大付属淵野辺)

◀朗読部門▶

- ◎山本 良子 (県立茅ヶ崎西浜)
- 杉浦 敏昭 (県立豊田)
- 両毛 明史 (県立足柄)
- 関 弘之 (県立大和東)
- 下田 加容子 (県立座間)

◀オーディオビジュアル部門▶

- ◎井浦 洋 (県立六ツ川)
- 水野 隆司 (Fm yokohama)
- 川又 弘明 (県立元石川)
- 川口 修 (県立瀬谷西)
- 小池 瑞夫 (県立有馬)

◀ビデオメッセージ部門▶

- ◎小澤 元 (県立永谷)
- 清野 文雄 (TVK)
- 中丸 隆夫 (東海大付属相模)
- 藤田 吉雄 (川崎市立商業)
- 黒部 直喜 (県立六ツ川)

第 1 5 回 神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門  
エ ン ト リ ー 一 覧

【アナウンス部門】

No	学校名	氏名	学年
1	県立横浜日野	永田 陽祐	1
2	県立磯子	笹川 裕子	2
3	県立六ツ川	佐藤 祐子	1
4	県立海老名	落合 洋子	2
5	法政大学第二	夏目 義大	2
6	県立神奈川工業	竹本 愛理	1
7	捜真女学校	中川 茜乃	1
8	県立瀬谷西	中島 尚子	1
9	県立大師	原田 文	2
10	県立多摩	高橋 治子	2
11	県立追浜	鈴木 美陽子	1
12	県立大和西	大島 千佳	2
13	逗子開成	真山 裕介	2

No	学校名	氏名	学年
14	県立有馬	小菅 綾	1
15	県立大和東	遥山 梨恵	1
16	県立綾瀬西	荒川 真一	2
17	県立金井	飯田 早苗	1
18	日大藤沢	伊藤 笑子	2
19	県立相模田名	荒木 早未	2
20	麻布大学付属淵野辺	渡仲 みどり	2
21	県立座間	鈴木 砂登美	1
22	相模女子大学	栗原 麻実	1
23	県立足柄	片岡 友美	1
24	県立市ヶ尾	芝 哲也	2
25	県立神奈川総合	鈴木 彩子	1

アパンの出場と重なっている場合は考慮しますので、本部まで申し出てください

6、あか 3 大和西  
 7、あか 11 淵野辺  
 4、あか 1 捜真

6月14日、15日  
 6月17日、18日  
 19日、20日  
 21日、22日  
 23日、24日  
 25日、26日  
 27日、28日  
 29日、30日  
 31日

【朗読部門】

No	学校名	氏名	学年
1	県立大和東	高橋 友美	1
2	逗子開成	小笠原 哲史	2
3	県立神奈川工業	須藤 江里子	1
4	県立綾瀬西	小澤 一江	2
5	県立六ツ川	日置 秀馬	1
6	県立平塚江南	米村 和彦	2
7	県立多摩	納 美保子	1
8	県立大和西	高島 希代	2
9	麻布大学付属淵野辺	石井 あゆみ	2
10	相模女子大学	小池 麻里絵	1
11	県立希望ヶ丘	増田 由美	1
12	県立市ヶ尾	八谷 由香	2
13	県立神奈川総合	西堀 朝子	2
14	県立金井	岡田 星菜	1
15	県立相模田名	武笠 くみ	2
16	県立座間	梅村 美樹	1

No	学校名	氏名	学年
17	県立大師	伊藤 愛子	2
18	県立元石川	城所 友美	1
19	日本大学	藤田 考輔	2
20	相洋	安達 智統	1
21	県立瀬谷西	新井 明絵	1
22	日大藤沢	三浦 紗穂	2
23	県立有馬	千葉 真緒	1
24	県立海老名	森田 亜紀	2
25	捜真女学校	大関 智子	1
26	県立相模大野	山下 淳也	2
27	県立横浜日野	荒木 光	1
28	県立磯子	矢島 美希	1
29	法政大学第二	矢島 健太郎	2
30	県立追浜	酒井 絢子	1
31	県立足柄	豊田 正義	1

【オーディオレクチャー部門】

No	学校名	氏名	学年
1	県立足柄	諏訪間 理恵	2
2	日大藤沢	伊藤 笑子	2
3	県立神奈川工業	桑 恵子	1
4	向上	東 利明	2
5	県立六ツ川	渡辺 友希	2
6	県立永谷	藤本 あゆみ	2
7	相模女子大学	宮沢 浩美	1
8	県立多摩	長部 智樹	2
9	法政大学第二	榎野 裕樹	2

No	学校名	氏名	学年
10	県立六ツ川	池田 良輔	1
11	県立神奈川工業	中平 真一郎	2
12	県立座間	飯田 美果	2
13	県立平塚江南	熊澤 礼花	1
14	日本大学	山本 達彦	2
15	県立大和西	早坂 美希	2
16	県立多摩	河内 涉	2
17	県立元石川	榎澤 惟代	1

アパソンの出場と重なっている場合は考慮しますので、本部まで申し出てください

【ビデオメッセージ部門】

No	学校名	氏名	学年
1	県立大船工業技術	内田 陽	2
2	市立商業	深水 一馬	2
3	日大藤沢	浅井 一仁	1
4	県立永谷	鳥海 直大	2
5	日大藤沢	山田 俊介	2
6	県立座間	橋本 有紀	1
7	県立六ツ川	河合 智史	2
8	県立希望ヶ丘	奥津 俊哉	2
9	逗子開成	間永 洋一郎	2
10	県立多摩	岡庭 智彦	1
11	麻布大学付属淵野辺	清田 知朗	2
12	県立永谷	飯塚 晃子	2

No	学校名	氏名	学年
13	県立七里ガ浜	染谷 武志	2
14	法政大学第二	豊田 幸美	2
15	相模女子大学	栗原 麻実	1
16	県立金井	小島 将太	2
17	県立多摩	河内 涉	2
18	県立大和西	大槻 亮輔	2
19	県立座間	齋藤 愛	2
20	市立商業	越川 浩成	1
21	向上	高橋 卓	2
22	法政大学第二	浦野 哲彰	2
23	東海大付属相模	飛沢 綾子	2
24	日本大学	遠藤 美沙子	2

## 神奈川県高等学校総合文化祭の紹介

「神奈川県高等学校総合文化祭放送部門」は神奈川県高等学校文化連盟が主催する「神奈川県高等学校総合文化祭」の放送部門として行われています。総文祭には全部で22の部門があり、放送部門もそのうちの一部門です。

各部門は毎年11月から翌年の1月にかけて県下の各地でそれぞれの催しを行っています。

「神奈川県高等学校総合文化祭」の開会式は11月4日（土）に関内ホールで行われました。閉会式は来年1月20日（土）に、横浜西公会堂で行われる予定です。今回の総合文化祭放送部門の優秀作品の表彰は、この閉会式で他の部門と共に行われます。

「神奈川県高等学校総合文化祭」の開会式、閉会式運営には、放送関係から次の方々が携わっています。

### 1. 式の運営

県高文連	放送情報専門部	部会長	渡辺	浩司	(川崎市立高津高等学校)
	同	理事	川又	弘明	(県立元石川高等学校)
	同	事務局長	井浦	洋	(県立六ツ川高等学校)
	同	編集委員	畠山	純一	(県立追浜高等学校)
	同	総合文化祭実行委員	岩崎	孝和	(県立市ヶ尾高等学校)
	同	総合文化祭生徒委員	木村	真人	(県立市が尾高等学校)
県高等学校文化連盟	全総文祭検討委員	井浦	洋		(県立六ツ川高等学校)

### 2. 開会式司会

井上 妃 (法政大学女子高等学校)  
地村 怜 (県立六ツ川高等学校)

### 3. 閉会式司会

矢嶋 悠子 (県立多摩高等学校)  
大野 鉄也 (県立六ツ川高等学校)

### 4. 開会式記録

県立市が尾高等学校・県立鶴見高等学校

# 出場校および参加部門本数一覧

《アンデパンダン大会》

《総文祭》

	校名	アナ	朗読	DJ	報道	文芸	放劇	アナ	朗読	AP	VM	合計
1	横浜市立南		3									3
2	県立瀬谷西		1			1		1	1			4
3	県立磯子		2	1				1	1			5
4	県立元石川		2				1		1	1		5
5	県立永谷	1								1	2	4
6	県立横浜日野	2	1					1	1			5
7	県立市ヶ尾	3	2					1	1			7
8	県立希望ヶ丘	1	2	1	1				1		1	7
9	県立神奈川工業	1	2		1		1	1	1	2		9
10	県立横浜翠嵐	2	1									3
11	県立六ツ川	5	4	1	1	1	1	1	1	2	1	18
12	県立金井	2		1			1	1	1		1	7
13	県立鶴見	3	4				1					8
14	県立東金沢	2	2									4
15	県立神奈川総合		2				1	1	1			5
16	横浜市立戸塚	5	3				1					9
17	横浜市立金沢	2	2				1					5
18	私立日本大学	1	3		1		1		1	1	1	9
19	私立富士見丘	4	1									5
20	私立法政大学女子	3	1		1							5
21	私立横浜創英	2	2	1	2							7
22	私立捜真女学校	1						1	1			3
	横浜合計22	40	40	5	7	2	9	9	12	7	6	137
23	県立多摩	3	4	1	2	1	1	1	1	2	2	18
24	県立大師	2	4					1	1			8
25	県立新城	1	1									2
26	川崎市立商業	2	1				1				2	6
27	私立法政第二	5	5	1	2	1	1	1	1	1	2	20
	川崎合計5	13	15	2	4	2	3	3	3	3	6	54
28	県立横須賀		1				1					2
29	県立追浜	1	2	1	1	1	1	1	1			9
30	私立逗子開成	1	1	1				1*	1*		1*	6
31	私立横須賀学院			1			1					2
	横三合計4	2	4	3	1	1	3	2	2	0	1	19
32	県立平塚江南	2	4		1		1		1	1		10
33	県立七里が浜	1	3								1	5
34	県立茅ヶ崎		1				1					2
35	県立大船工業技術			1			1				1	3
36	私立日大藤沢	2	3	1			1	1	1	1	2	12
	湘南合計5	5	11	2	1	0	4	1	2	2	4	32
37	県立相模大野		2	1			1		1			5
38	県立有馬	2	5		1			1	1			10
39	県立大和東	2	5		1		1	1	1			11
40	県立座間	3	3					1	1	1	2	11
41	県立海老名		4	1			1	1	1			8
42	県立足柄		1			1	1	1	1	1		6
43	県立相模田名	1	3				1	1	1			7
44	県立綾瀬西			1				1	1			3
45	県立大和西	2	3	1			1	1	1	1	1	11
46	私立相模女子	1	3					1	1	1	1	8
47	私立麻布大淵野辺		1	1			1	1	1		1	6
48	私立向上		2							1	1	4
49	私立相洋		3						1			4
50	私立東海大相模	3	5		1	1	1				1	12
	北相・西相合計14	14	40	5	3	2	8	10	12	5	7	106
	神奈川県合計	74	110	17	16	7	27	25	31	17	24	348

## 諸 注 意

1. 校舎・体育館は土足厳禁です。上履きを忘れた人は昇 降口でスリッパを購入してください。会場校のスリッパは使用しないでください。
2. 生徒控え室は西館 1 階です。他の場所では飲食をしないでください。
3. ゴミは原則持ち帰りです。ゴミはゴミ箱に捨ててください。
4. 立入禁止区域には入らない、教室の私物には手を触れないなど、あらゆる点で会場校に迷惑をかけないように考えて行動してください。
5. 審査中は静かにしてください。特に会場内や廊下などは静かにしてください。会場の出入りは審査の合間に行ってください。
6. 作品・スクリプトの提出は当日の朝会場で行います。提出時間に遅れないように注意してください。
7. 発声練習は西館と体育館の間、プール周辺で行ってください。  
アナウンス・朗読の出場者は早めに各会場で待機してください。

日春に~~合宿~~合宿

○Nコン 休 きのま

○夏 8/4~6 及しおかにい

○ア-1102し

総文時

の日録、場所

有( )はふにる

○

○